

自然素材住宅新聞

発行 自然素材建築研究所
 グランディアホーム(株)
 〒285-0837
 千葉県佐倉市王子台1-21-2
 TEL 043-461-9065
 FAX 043-489-0275
 URL http://grandiahome.jp
 e-mail info@grandiahome.jp

地元で育った良質な『千葉県産の木材』①

今月から3回に分けて千葉県産の木材について解説させていただきます。
 また先日、千葉県木材振興協会が主催した「ちばの木活用コーディネートセミナー養成講座」を受講してきたので、そちらのレポートもあわせてお伝えしたいと思います。

自然素材建築研究所では、日本の住宅建築の伝統工法である木造軸組構法の構造材などには、千葉県で伐採した木材を使用する事を推奨しております。
 ではなぜ、私達が県産材を推奨しているのかを今月号では、7つの理由のうち今月号では4つまでをお伝えいたします。

1、湿気に弱い外国産材

木も人間と同じように生物です。育ってきた環境に近い場所で使用してあげることが、その木が持っている本来の力を十分に引き出す事につながります。育ってきた環境と住宅に使われる環境が違えば木が環境になじめずに劣化しやすくなってしまうのです。特に外国産材(ヨーロッパ、ロシア、カナダ)は日本に比べ年間を通して気温が低く、空気が乾燥しております。外国産材は日本のように夏場は80%を超えるような湿度が高い環境では、湿度に対しての耐性が脆いのです。住宅の柱に使われてからの腐朽が早く危険と言っても過言ではありません。

国産材ならどこの木を使っても良いと言う事ではありません。関東と東北とでは気候環境が大きく違います。やはり、国内でも育った環境に近い場所、例えば千葉県で住宅を建てるのであれば、千葉県で育った木を使うことが建物を長持ちさせる為にも重要です。

2、適材適所で使用する事が出来る

自然素材建築研究所では、構造材に使用する木材の発育環境を重視しております。実際に使用する木が育った山へ入り、育った山の状態などを確認しています。なぜならば、手入れの行き届いていない山で育った木と手入れされた山で育った木では、同じ樹齢・樹種でも大きく違うからです。例えば、発育環境が悪いと年輪の間隔が広く脆い木に育ってしまいます。また、山の斜面で育ったのか、平地で育ったのかによっても住宅に使われる場所によっては適材適所があるので実際に山へ入り、山の状態や木の発育状況を見極める事は重要です。

3、良質な県産材を安く購入できる

通常、木材を購入する場合、問屋や商社をいくつか通って購入する事になります。流れとしては「林業者」→「製材業者」→「木材問屋(場合によっては2社)」→「施工店」→「お客様」というような流れになります。地元の木を使う事により地元の林業者、製材業者と近い関係が作れるので、「木材問屋」を通さずに良質な木材を通常より安く購入する事ができます。

4、環境負荷を大幅に削減できる

日本で使用されている木材は、昭和45年頃を境に外国産材が爆発的に普及しました。現在では全体の80%を外国産材が占めており、その多くは、アメリカ、ロシア、カナダ、オーストラリアから輸入しています。当然それらは、船を使用して長い距離を旅してきます。それらを運ぶ為に多くの燃料が使用されています。

ロシアを例に取ってみると日本まで約二万二千キロの距離をかけて運ばれてきています。私達は南房総市の製材所から仕入れてるので、仮に佐倉市まで運ぶとしても約百キロです。ロシアと比較すると実に220分の1の距離です。それらを考えると外国産材を購入するよりも環境負荷は少ないです。また、地元の木材を使用する事によって、地元の山を蘇らせる事につながります。日本は、国土の3分の2を森林が占める先進国の中でも有数の森林大国です。しかし、先程の木材のように木材自給率は低く、大量の外国産材を輸入しているのが現状です。

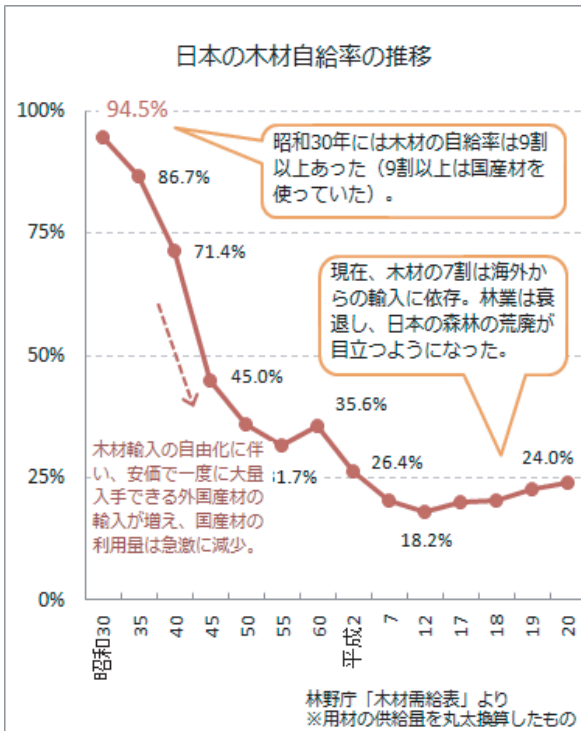
千葉県産の杉丸太



鴨川市の整備された山で育つ杉



日本の木材自給率の推移



我が国の木材自給率は、木材輸入の自由化により大幅に減少しています。では、なぜこれほどまでに外国産材が普及したのかと言う理由は、ずばり値段です。しかし、外国産材がいくら値段が安いとはいえ、日本のような湿度の高い国では長期間に渡ってその性能を維持する事は難しいです。建築のプロである私達が、それらの真実を皆様へ伝える事は、いわば使命だと感じています。

その結果、日本には多くの森林資源があるにもかかわらず使用されておらず、林業が衰退し山の多くは荒れ果ており、次の世代の木々が育っていません。ですから、地元の県産材を使用する事は、日本の林業を活性化させ山の蘇生に貢献する事になります。

今月号から、「千葉県産材」についてお伝え致しました。来月号では、そのお伝え致します。

弊社では毎月、第二、第四、日曜日に「自然素材の勉強会」を行っております。そちらの勉強会へ参加頂ければ、実際に自然素材に触れて頂き、さらに自然素材について詳しいご説明をさせていただきますので、お気軽にご参加下さい。